

2024年度 地区別父母懇談会 開催報告

二松学舎大学 父母会報

平成5年5月10日創刊
令和6年10月20日発行
(第126号)

二松学舎大学父母会
(本部・事務局)

東京都千代田区三番町6番地16
二松学舎大学学生支援課

題字は
故 観山貞広常吉先生書



二〇二四年度 二松学舎大学地区別父母懇談会は、六月二十九日(土)の静岡会場を皮切りに、八月三日(土)まで全国三都市(静岡市・宇都宮市・千代田区「九段キャンパス」)にて開催されました。

地区別父母懇談会は、父母会の主要事業の一つです。大学の現況や学生生活等について、教員をはじめ大学関係者から父母等保証人に向けて報告を行います。また、学生個々人の学業成績や将来の進路等について、希望する保証人と教職員が直接懇談できる機会も設けています。

保証人と大学の教員が、膝を突き合わせて懇談できる機会はありませんが、参加された方からは、「大変貴重な時間を過ごすことができました」、「子供から聞く情報は部分的で、今回お話しをうかがえたことで、一貫して就職活動の流れを掴むことができました」、「最初は緊張しましたが、先生方のお話しが面白く、引き込まれました」等、多くの高評価をいただいております。

九段キャンパスで開催する懇談会では、前述の大学報告や個別の面談に加え、「就職に関する講演会」および「教職に関する講演会」も行っており、これらの講演会もまた参加者からは、理解促進に大いに役立ったとの感想をいただいております。

当日参加された保証人の方からいただきましたアンケート結果の一部を本号に掲載いたしましたので、併せてご一読ください。

六月二十九日(土)の静岡会場を皮切りに各地で父母懇談会が開催され、父母と大学教職員の交流が行われました。その内容を寄稿していただきました。

静岡会場

佐藤 真仁

二〇二四年六月二十九日(土)、静岡市葵区のホテルアソシアを会場に、地区別父母懇談会が開催されました。

大学側からは佐藤学長をはじめ文学部塩田教授、国際政治経済学部須藤教授、その他事務局の方々にお越しいただきました。保護者は静岡県近隣の九名が参加し、落ち着いた雰囲気で行っていました。

佐藤学長からは学業とともに健康な身体をつくっていくことの大切さを教えていただきました。塩田・須藤両教授からは、学生たちの普段の様子とともに、ゼミナールとはどんなものかの説明、学生の就職状況などにも言及がありました。また須藤教授からは国際政治経済学部の「データサイエンス特別プログラム」の紹介がありました。これからの社会にはITスキルは不可欠なものです。その中でも膨大なデータの中から必要な情報を加工・処理できるデータサイエンス技術を学ぶことをできるのは非常に有用だと感じました。



事務局からは保護者の最大の関心事の一つであろう「進級要件・卒業要件」について、図解されたスライドとともに説明していただきました。とても分かりやすい内容でした。全体会終了後、希望者による「個別相談」の場があり、それぞれとても丁寧な対応をしている様子が見られました。当大学が学生一人一人へ丁寧に関わり添っていたいていいることを実感することができた懇談会でした。ありがとうございました。

宇都宮会場

黒崎 紀栄

二〇二四年七月六日(土)、TKP宇都宮カンファレンスセンターにて地区別父母懇談会が開催されました。

副学長である国際政治経済学部押野教授をはじめ文学部仙石准教授、事務局の方々三名の合計五名の皆様にお越し頂き、地区別父母懇談会説明資料に沿って二松学舎大学二〇二五年度のビジョンを丁寧に説明していただきました。

一年生の保護者としては、大学関係者様のお話を伺える本当に貴重な機会でした。履修、留学、部活やサークル等の生活全般に渡り様々な情報を共有して頂きました。

特に二年生に進級時のゼミの選び方については、個々の特性に合わせて紹介を頂きとても参考になりました。「個別相談」の申込みはしていなかったのですが、我が子の普段の様子が見え、エピソードを用意していただく、何気ない日常でも学生一人ひとりをよく観察されている事に驚くとともに、その細やかさに感激しました。

学内で感じた些細な事を相談できる事務局や、新たに用意された不安や悩みを打ち明けられるメンタルヘルスサービス等、万全なサポート体制も心強いです。

この様な恵まれた環境で過ごす息子の成長が楽しみです。

改めて宇都宮会場の開催に感謝申し上げるとともに、保護者の皆様には是非、地区別懇談会に参加されることをお勧めします。

大学生ママ友もできますよ！



九段会場

高柳 圭良子

二〇二四年八月三日(土)、二松学舎大学一号館において開催された父母懇談会に参加させていただきまし。四月に我が子が入学し、大学の様子を直接知りたいと思い、地方からでしたが初めて参加して、とても充実した有意義な時間を過ごすことができました。

当日はとても暑い日でした。九段下の駅から、緑の生い茂っている公園の木々を横目で見、少し癒されながらやつの思いで辿り着きました。そんな時にもこやかに出迎えてくださった職員の方々の優しい心

遣いに感動しました。

父母懇談会では、学長のユーモアを交えたお話や、学部ごとの状況や学生の生活など詳細な報告があり、貴重な情報を得ることができました。その後の就職説明会や教職説明会も、初めて子どもを大学に通わせる親として現状を知ることができ、これからどのように大学生活を送ればよいかを、親子で考える機会がもてました。個別面談でも、ほんの些細な質問にも丁寧に答えていただき、サ

ポート体制の手厚さを感じました。

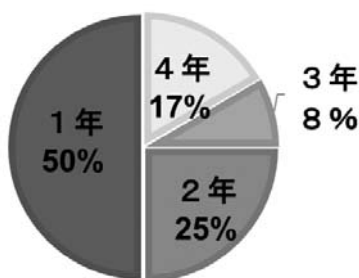
都心にありながら、静かで設備の整った素晴らしい環境で、熱心な先生方のもとに学べる子どもたちは幸せだと思います。改めて心強さと安心感を感じ取ることができました。これからも宜しくお願い致します。



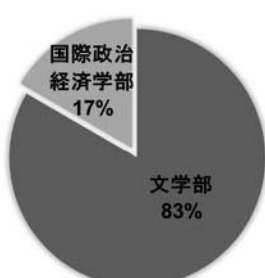
地区別父母懇談会アンケート集計結果

ご参加いただいた四十八世帯のうち、十二世帯の保証人の皆様からアンケートのご回答をいただきました。貴重なご意見は、今後の父母会活動や次年度以降の地区別父母懇談会に活かしていきたいと思ひます。

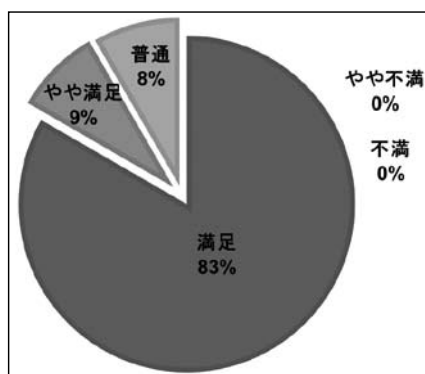
お子さまの学年



お子さまの学部



■全体懇談会について



- ・ライブキャンパスについて見方がわからなかったのて助かりました。
- ・学部、学科の現況や今後のお話が聞けて良かったです。成績評価も詳しく説明していただいたので分かりやすかったです。

■個別相談会について

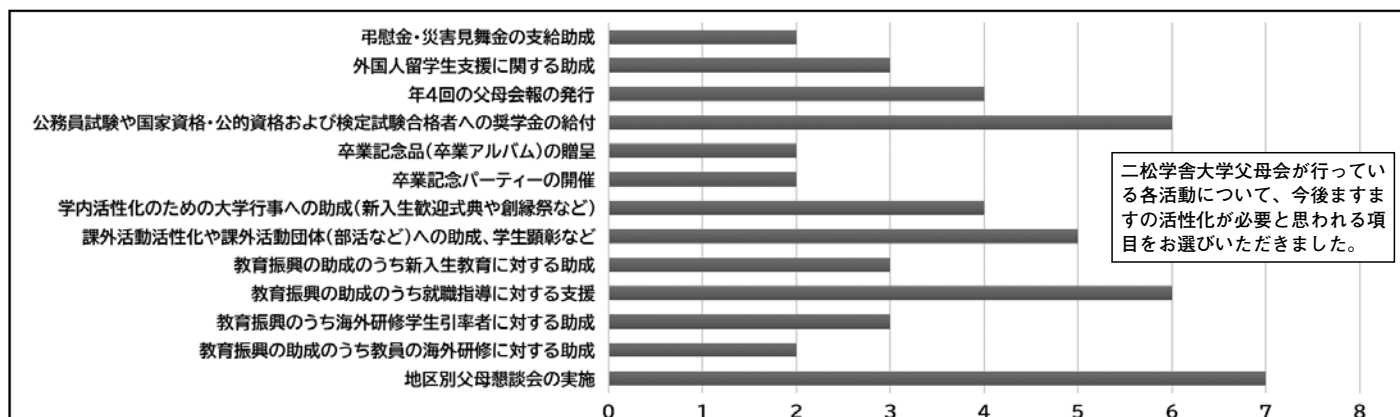
- 成績の相談について、子供の成績情報を見ながら、色々とアドバイスをいただきました。先生と職員の方二名で相談にのっていただけ、心強かったです。
- 事前の質問内容について、詳細にお答え頂き有難うございました。今後の進路につきましては、本人からも窓口へ相談に伺うと思いますので、宜しくお願いします。本日は有難うございました。

■就職に関する講演会（九段会場のみ）

- 「今後企業が求める人材が今と変わってくる」というお話が心に残りました。卒業生達が真面目で頑張っている事により企業からの声が掛かるという言葉も頼もしく感じる事ができ、安心しました。
- とても分かりやすかった。これからも何度か聞いてみたい。

■教職に関する講演会（九段会場のみ）

- 教職課程をとり、実際に実習や受験に至るまで、手厚くサポートしていただけるのが素晴らしいと感じた。学生も安心して臨めると思った。



海・外・研・修

今年度から本格的に海外研修が再開しました。
父母会では、本活動に助成支援をしております。
今回は、春・夏の5名の学生に寄稿いただきました。



私はKPOPが好きで韓国語を独学で勉強しており、中学生の頃からずっと憧れだった韓国への留学という夢をやっと叶えることができました。ずっと憧れだったにも関わらず、出発直前には不安で仕方なかったこともありましたが、ですが、実際に着くと、同じ意志を持った仲間たちと共に、同じ目的に向かって勉強するのがどれだけ楽しいか実感しました。

授業だけでなく、お昼ご飯や放課後など、学校外での学びも多く、現地で学ぶのは大切なことだと感じました。同じ意志を持った仲間たちと学ぶので、日常会話に韓国語を入れて会話をします。日本人同士で出かけたのに韓国語しか使わなかった時もありました。それだけ成長できる機会が一番多いのが留学だと思います。

また、勉強だけでなく観光もできるのは魅力的なポイントだと思います。二週間という短い期間でしたが、ほぼ毎日いろんな場所に行き観光することができました。



春◆韓国 建国大学校約二週間
文学部 中国文学科 四年 秋葉珠莉
私はKPOPが好きで韓国語を独学で勉強しており、中学生の頃からずっと憧れだった韓国への留学という夢をやっと叶えることができました。ずっと憧れだったにも関わらず、出発直前には不安で仕方なかったこともありましたが、ですが、実際に着くと、同じ意志を持った仲間たちと共に、同じ目的に向かって勉強するのがどれだけ楽しいか実感しました。

春◆韓国 高麗大学校 約一か月

文学部 中国文学科 三年 吉田侑以

私が留学に行こうと思ったきっかけは、韓国語を勉強していて日本で勉強しているだけでは語学力はあまり上がらないと思い、現地で暮らして学ぶことが大切だと思ったからです。留学に行く前は、海外で暮らすことに対する不安が大きく、約一ヶ月間耐えることが出来るのかという心配がありました。しかし、実際に留学に行ってみるとあつという間に終わつたなど感じるほど充実した生活を送ることが出来ました。語学堂の授業は先生が韓国の方なので、現地の時事的なことや流行りなど韓国の文化についても授業で学ぶことが出来て良かったです。そして語学堂の先生、同じクラスの友達、トウミ制度で出会った韓国人の友達、ホストファミリー、街中で出会った現地の方など新たな出会いも沢山あり、

そういつた点でも留学に行つて良かったなと思いました。また、留学に行つて「話す力」がついたなと感じました。日本では韓国語を話す機会が少なく、聞くことが多くなつてしまいがちでしたが、たくさんの方と出会つて、お話しする機会があつたので、アウトプットする機会が多かつたことがとても良かったと思いました。



春◆アメリカ サンフランシスコ州立大学 三週間

国際政治経済学部 国際経営学科 三年 井上文由香

留学をしてみても、まずはアメリカへ行つたこと・留学すると決めたことにととても意味があつたと感じました。知らない環境で不安がありましたが、分からないことや困つたことがあつても、それ以上に体験したことのない新しい経験をすることができました。私は物心ついた時から海外特有の文化や価値観に魅力を感じており、実際にその場所に行くことで自分自身の価値観や視野を広げるきっかけになると考え、留学を決めました。サンフランシスコ州立大学では、午前中に授業を受け、午後にはサンフランシスコの歴史や文化を学べる場所に行きました。授業では英語でのゲームやコミュニケーション、動画鑑賞などを行い、外国人数名がアシスタントとして日替わりで

英語を教えてくれました。また、テレビで流れてくるニュースも外へ出て聞こえてくる声も、ホストファミリーや授業中も、留学先では常に英語に触れていたもので、自然と耳が慣れていき今は行く前よりもリスニング力が上がっていると思います。サンフランシスコでの体験はどれも思い出に残り、留学先で出会った人たちとも良い関係を築くことができました。



夏◆韓国 建国大学校 約二週間

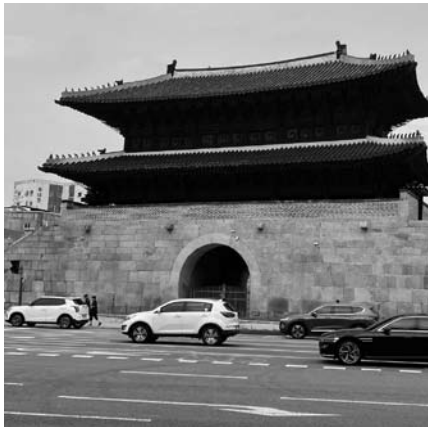
文学部 中国文学科 二年 石山魁士

今回、韓国の建国大学校に短期海外語学研修に行ったことによって、様々な体験をすることができました。今まで、映画やドラマなど映像の中だけでしか見たことのなかった景色を実際に自分の目で見たり、現地の人と韓国語で会話をしたりと日本においては、経験することができないことが多かったです。

現地の授業では、韓国語を韓国語で学ぶことができました。そのため韓国語のフレーズや単語を日本語で学ぶよりも、簡単な韓国語や英語、イラストで覚えることができました。

実際には韓国語を使う場面では、頭の中ですぐに韓国語のフレーズや単語を思い浮かべることができ、ある程度スムーズに会話をする事ができるようになりました。

現地でサポートしてくださった学



生の方や先生は、とても優しく、一緒に楽しい思い出を作ることができました。日本語で会話をしてくださったり、韓国語でゆっくりと話してくださったりしました。また、韓国で流行っていることや韓国にしかないことを教えてくださり、それらを一緒に楽しむことができました。韓国に行ったことで、様々なことを学び、経験し、色々な人と関わることで、自分の考えの幅を広げることができました。

夏◆アメリカ サンフランシスコ州立大学 三週間

国際政治経済学部 国際経営学科 二年 斉藤柚子

今まで海外に行ったことがなく、日本とは違う文化に驚くことがたくさんあり、貴重な体験がたくさんできました。最初は会話が難しかったのですが、たくさん話しかけてくれて、楽しく英語を話すことができました。ようになりました。聞き取りが徐々にできるようになったのは大きな成長だと思いました。英語に自信がなくても、わかる範囲で話してみても、間違ったところは指摘してくれるので、どんどん話してみようという気持ちになりました。ホストファミリーとはビーチに行ったり、バスケットをしたりさんの思い出ができました。また、仲良くなったクラスメイトとは、アウトレットに買い物に行ったりしました。留学の良いところは、日本とは違う文化を知ることができるのだと思います。さらに、

ほかの国の人々との交流ができて、様々なことを学び、体験することができます。新しい発見ができて、たくさんの方に興味をもつこともできます。ほかの国の人と交流することで、さらにコミュニケーションの楽しさを感じることができると、それと同時に英語能力を向上させることができます。日本では体験できないことが多く、とても興味深かったし、楽しいことがたくさんありました。今回の留学で、自分に自信をつけることができたと思います。この自信を持ち続け、さらにたくさんの方を経験していきたいなと思いました。



皆様初めまして。私は学生相談室カウンセラーの江刺(えさし)と申します。今年赴任してきたばかりですが、この大学の学生さんたちが、ご自身のあり方に向き合い、非常に真剣に悩み考えている様子を見て感じとっています。そんな学生さんたちががんばり過ぎて、心身の不調を生じた際、親御さんとしては、お子さんにどんな風に接したらよいのか悩まれる場面もあるかもしれません。見守ることしかできないような状況だったとしても、心配してやきもきせざるを得ない光景を目の当たりにしたり、家族という距離の近さが、かえって話さづらさや聞きづらさを生むこともあるかもしれません。

学 生 相 談 室

だ よ り 126

カウンセラー 江刺香奈

そんな、声をかけたいけれどもなんと行ってあげたらよいかわからない時にご提案できる方法の一つに、『証証』の言葉がけ、というものがあります。『証証』とは、「そんな体験をしたんだね」「そういう気持ちをもっているのね」などと、語られた

ことを思いやりをもつて聞いて、そこで受け取った理解を伝えるものです。お子さんが悩んだり、うまくいかず落ち込んでいる様子であれば、「よしよし」として「んだね」「今そのことについて聞ってるんだね」など、困難な状況をなんとかしようとする気持ち自体を肯定的に受け止めることも含まれます。この点が、『褒める』『賞賛』の言葉とは異なります。人はつい、物事の解決しない面や成し遂げたことに注目を向けるがちですが、何か苦しいことを解消させようと、心の中で思うことそれ自体も、かけがえのないその人の姿だと思ふのです。それを自分の親

が認めてくれると分かることは、きつとお子さんの心の支えになると、私は考えています。

私たちはそんな学生さんたちの心が健やかであるよう、いつも応援しています。もしお子さんのことや、接し方で悩まれていることがありましたら、ぜひお気軽にご相談ください。

●新しいキャリア支援

今年の採用活動から、大きく変わったことがあります。インターンシップ等のキャリア形成支援プログラムの在り方です。これは、文科省、厚労省、経産省の三省合意による「インターンシップの推進に当たっての基本的考え方」の改正により変わりました。

ア
ー
リ
タ
リ
76
ヤ
ン
よ
キ
セ
だ

会社に関する情報提供を目的とした短期間で開催されるキャリア形成支援プログラムです。各会社が主催する説明会だけではなく、就職情報会社や大学のキャリアセンターが主催する説明会なども該当します。また、学年に関係なく、参加できることも大きな特徴です。今までは三年生になると急に就職活動が始まるため、学生は業界や会社

のことを深く理解できず、やりたいことが見つからなかったり、入社後のミスマッチにもつながったりしていました。

しかし、今年からはオープン・カンパニーが登場したので、学年を問わず、業界や個別の会社の理解が深められるようになりました。

社説明を一年生のときに聞けば、その会社へ入るために必要な能力などを知ることができます。学ぶ目的が明確になれば、大学での学修や各種活動に対しても意欲が高まると思います。ぜひ、保護者の皆様からもオープン・カンパニーのことを息子、ご息女にお伝えください。

具体的には、昨年度までは一日のプログラムもインターンシップと呼んでいましたが、今年からは①期間、②時期、③情報開示、④就業体験、⑤指導の五つの要件を満たさなければ、インターンシップと呼ぶことができません。また、新しいキャリア形成支援プログラムは、Iオープン・カンパニー、IIキャリア教育、III汎用的能力・専門活用型インターンシップ、IV高度専門型インターンシップの四つのタイプに分かれています。今回は学生たちに身近となったオープン・カンパニーのことを説明します。

二松学舎大学
父母会
無料喫茶室



営業日時

[1日目] 11月3日 (日・祝) 10:00~16:00

[2日目] 11月4日 (月・振) 11:00~14:00

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

学内で最も景色の良いフロア『1号館13階ラウンジ』。
武道館やスカイツリー、靖国神社の眺望を楽しめます。
コーヒーやお茶、ジュース、お菓子などをご用意して
おります（無料）。東京の景色を楽しみながら、
ゆったりとした時間を過ごしませんか？



★飲食物の持ち込みも可能です。1階の模擬店で購入された食べ物やお弁当等も飲食可能です。

ちょっとした休憩場所としても、お気軽にご利用ください♪

★同フロア内で、父母会の活動記録等も展示予定です。そちらもぜひご覧ください。

◆ 父母会と松苓会との懇談会（意見交換会）を開催

二〇二四年九月七日（土） 十五時
五十分より、父母会と松苓会との懇
談会（意見交換会）を開催しました。
“松苓会（しやうれいかい）”は、二
松学舎大学の同窓会機関であり、日
ごろから卒業生や在学生に対し、支
援や相互の親睦交流をはかる活動を
行っております。

今回、松苓会の平野会長をはじめ役員の方々五名にお集まりいただき、また父母会からは武石副会長および須藤副会長をはじめ七名の役員

と懇談会を行いました。

冒頭、平野松苓会長よりご挨拶をいただき、その後それぞれの出席者の自己紹介を行い、現在の松苓会と父母会の活動報告を行いました。

学生のために有益な活動サポートの施策等について、お互いに活発な意見交換および提案が行われ、今後も継続的に情報交換を行いながら、大学の発展に寄与することを確認し、閉会しました。同様な懇談会を今後も実施していきたいと思います。



編集後記

災害級の暑さと言われた夏もようやく落ち着きました。が、この夏、地区別父母懇談会が静岡、栃木、東京各会場にて開催されました。私は東京開催に参加しました。私は学長、各学部の先生方、キャリアセンタ―のお話しや講演は、楽しかったり、ためになったり、目からウロコ、日頃から子供に伝えていることへの答え合わせが出来るものとなりました。もう大学生なんだからそんなに関わらなくても、と思う方も多いとは存じますが、参加してみると、一人の大人・社会人として、勉強になった、楽しかった！と感じる機会となりました。さらに、教職員の学生への手厚いサポートの一端にふれることができたようで、いっしょに保護者としてほっこりいたしました。保護者の方はどうなても参加できますので足を運んでみてはいかがでしょうか。

十一月には、創縁祭（学園祭）が開催されます。今年も父母会では、十三階にて無料喫茶室（休憩所）を開設いたします。都会の喧騒を忘れられる穏やかな空間となっております。活発な学生の様子を眺めるだけでなく、絶景も眺めにいらしてください！